

# 保証について

以下、保証対象外の範囲について記載しています。さらに詳しい内容や保証対象、保証期間については、別紙保証書をご確認ください。

## 保証対象外

保証期間内であっても、以下の場合は有償修理（保証対象外）となります。

- ① お客様による不適切な使用方法・条件による故障
- ② お客様の不注意や過失に起因する故障
- ③ お客様の無断改造に起因する故障
- ④ お客様が弊社以外のところで修理や改良をした場合の故障
- ⑤ お客様が弊社指定の専用水および付属品を使用しないで発生した機器の不具合や故障
- ⑥ 保証書の提示がなかった場合
- ⑦ 火災等の不可抗力、地震、風水害等の天変地異による故障

## 問合せ先

メール: [info@helixj.co.jp](mailto:info@helixj.co.jp)

電話: 0120-620-313 (フリーダイヤル)  
(受付時間: 平日 8:30 ~ 17:30)

HELIX JAPAN

〒102-0074  
東京都千代田区九段南2-3-27 あや九段ビル3F

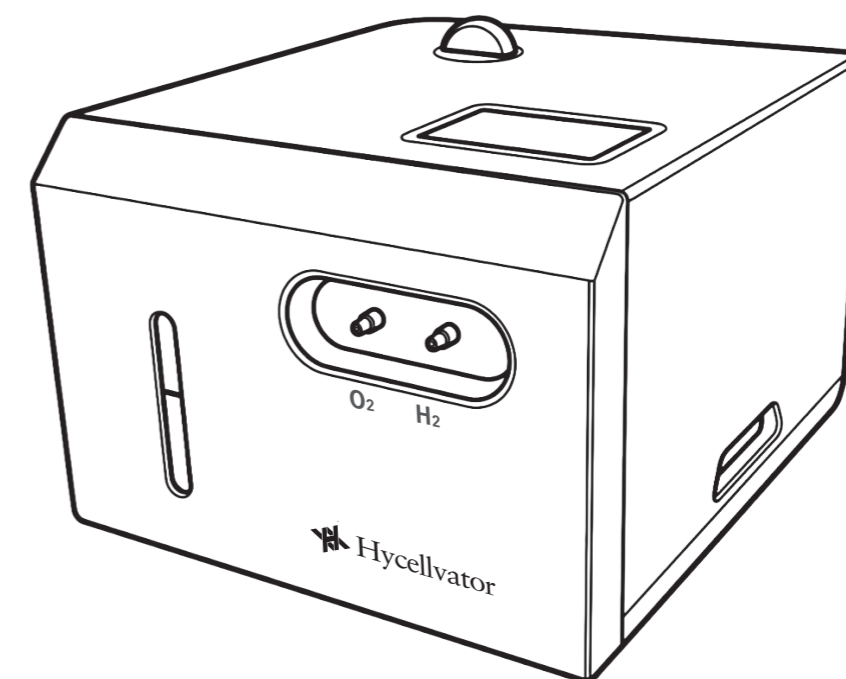
株式会社ヘリックスジャパン

HELIX JAPAN

# 取扱説明書

## ハイセルベーター

### HX600



## 目次

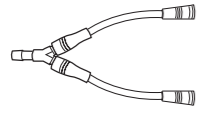
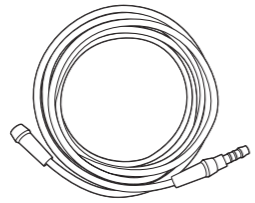
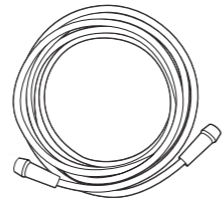
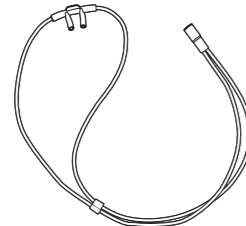

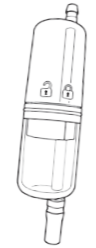
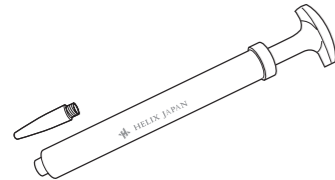
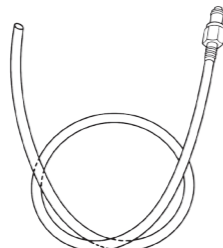
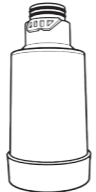
付属品 .....	2
安全上のご注意 .....	3
各部名称 .....	6
設置する .....	10
ご使用方法 .....	11
使用後のお手入れ .....	17
専用水の給水と排水 .....	19
Q&A 故障かな?と思ったら .....	24
製品仕様/その他 .....	26
保証について .....	28

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.3~5)を必ずお読みください。

# 付属品

付属品をご確認ください。

		
Y字チューブ	(オス-メス)延長チューブ	(メス-メス)延長チューブ
		
カニューラ	専用水	集水ケース
		
水滴排出ポンプ	排水チューブ	フィルター

- 専用水やその他別売品のご注文については、「別売品について」(P.27)をご覧ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。



# 安全上のご注意



必ずお守りください







ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ここに記載している注意事項は、人への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。内容を十分にご理解のうえ、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。





■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	<b>警告</b> 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	<b>注意</b> 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。





	必ず実行しなければならない内容です。
	してはいけない内容です。

 <b>警告</b>	
	<b>本製品が転倒した際や異常・故障時には直ちに使用を中止する</b> そのまま使うと火災・感電などの原因になります。異常があったときには、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社までご連絡ください。(P.28)
	<b>電源コード・プラグは、正しく扱う</b> 感電や、ショートによる火災の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 根元まで確実に差し込む</li> <li>● 差し込みが緩い電源コンセントに差し込まない</li> <li>● たこ足配線にしない</li> <li>● めれた手で抜き差ししない</li> <li>● 必ず本体の電源が切れたことを確認してから抜く</li> <li>● 抜くときは必ずプラグを持って抜き、コードを引っ張らない</li> <li>● ほこりなどがたまらないように、定期的に乾いた布で拭く</li> </ul>
	<b>可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない</b> 火災や爆発の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用中の環境に注意する</li> <li>● 睡眠中など、注意が及ばない状況で使用しない</li> </ul>
	<b>静電気を発生させない</b> 静電気による事故のおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 静電気が発生しやすい衣類や寝具などを避ける</li> <li>● 適度な湿度(40%~60%)でご使用ください。</li> </ul>
	<b>電源コード、延長用電源コードを破損するようなことはしない</b> (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。電源コードが破損した場合は、弊社までご連絡ください。(P.28)

## 警告

	<b>電源は、延長用電源コードを含め、定格 15 A以上・交流 100 Vのコンセントを必ず単独で使う</b> たこ足配線などで定格を超えると、異常発熱による火災の原因になります。
	<b>分解、改造、修理をしない</b> 感電や事故の原因になります。いかなる場合も絶対にしないでください。
	<b>本体に水をかけたり、ぬらしたりしない</b> 防水構造ではありません。ショートなどによる感電や火災の原因となります。
	<b>本来の用途以外には使用しないでください。</b>

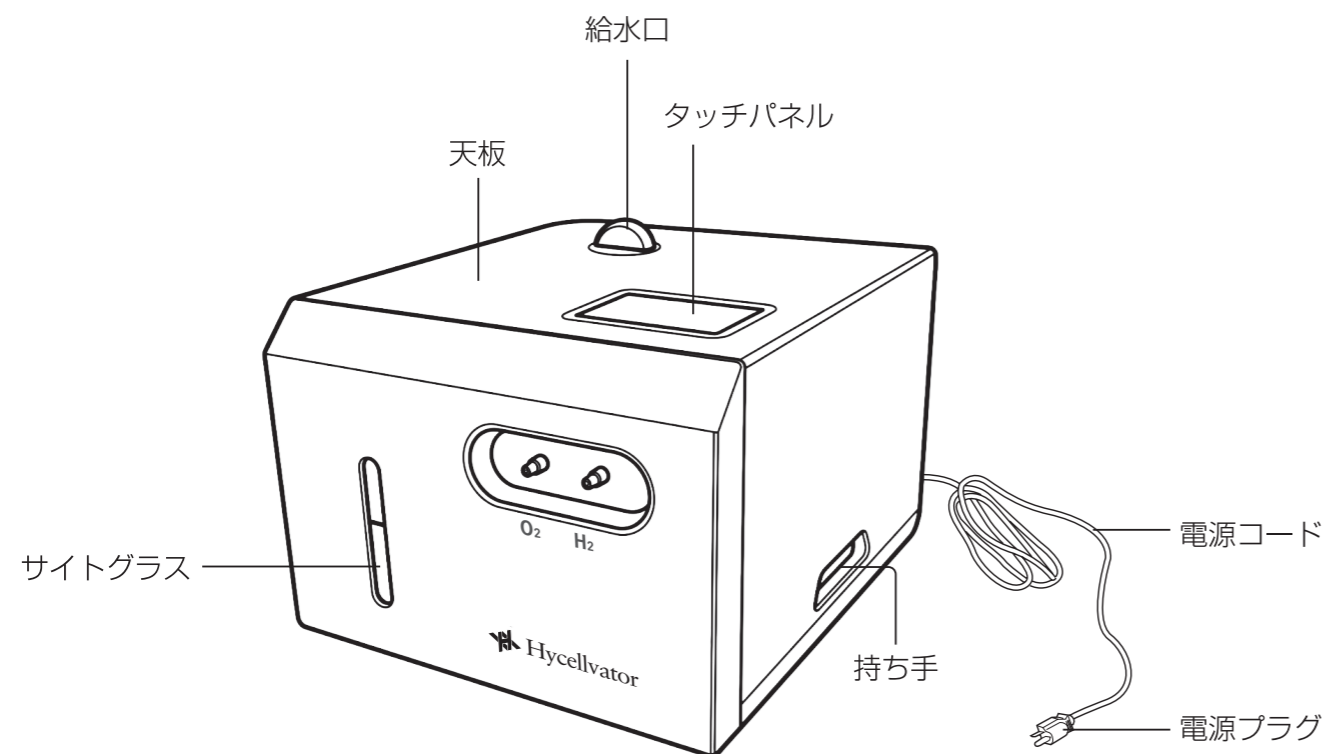
## 注意

	<b>製品の上に物を載せない。</b>
	<b>本体を落としたり、衝撃を与えたり、傾けたりしない</b> 火災・感電・故障の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>踏んだり、落としたりなど、強い力や衝撃を与えない</li> <li>よりかかったり、乗ったりしない</li> <li>安定した場所に置き、45 度以上傾いた状態にしない</li> </ul>
	<b>本体の放熱を妨げない</b> 内部に熱がこもると、火災や故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>壁など周囲から 10 cm 以上の間隔を空けて設置する</li> <li>本体の背面底面にある吸気口 / 排熱口を塞がない</li> <li>テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない</li> </ul>
	<b>次のような場所で保管、使用しない</b> 正常に作動せず、事故につながる可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>異常に温度や湿度が高い / 低い場所</li> <li>ほこりの多いところ</li> <li>直射日光が当たる場所</li> <li>台所やストーブの周囲など、火気を使用する場所</li> </ul>

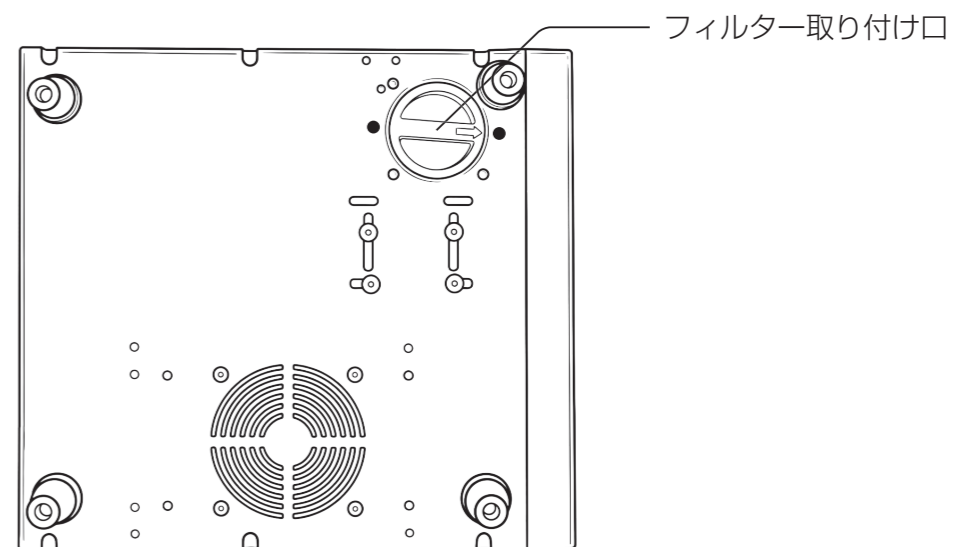
## 注意

	<b>使用中は換気を行う</b> まれにガス警報機が反応することがあります。窓を開けるなど、換気をしながらご利用ください。
	<b>カニューラが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する</b> そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
	<b>長期間(3か月以上)使用していない場合は、専用水をすべて排水し、給水してから運転する</b> → 詳しくは「排水する」(P.20～22)をご覧ください。
	<b>Y字チューブ、延長チューブ、カニューラは常に清潔にする</b> 汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭や健康を害する原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>使用後は、Y字チューブ、延長チューブ、カニューラを乾燥させる (P.17～18)</li> <li>長時間使用しないときは、すべての付属品を取り外し、十分に乾燥させてから保管する</li> </ul>
	<b>各種チューブ</b> 抜くときはチューブの根元を持ち、まっすぐに抜いてください。 折り曲げながら抜くと破損のおそれがあります。
	<b>数日使用しないときは、電源プラグを抜く</b> 絶縁劣化で火災の原因になります。
	<b>本機器の輸送・長距離運搬の場合</b> 運搬中、水が機内に溢れて電気系が損傷しないよう、水タンクを排水して空にしてから運んでください。
	<b>子どもだけで使用しない</b> お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、保護者の方の目が届く範囲でのみご使用ください。
	<b>延長チューブやカニューラを首にかけて使用しない</b> 事故やケガの原因になります。
	<b>運転中に本体を強制終了しない</b> 故障の原因になります。運転中に主電源スイッチを切にして強制終了しないでください。(P.16)
	<b>専用給水口への給水は専用以外の水を使用しない</b> → 詳しくは「給水する」(P.19)をご覧ください。

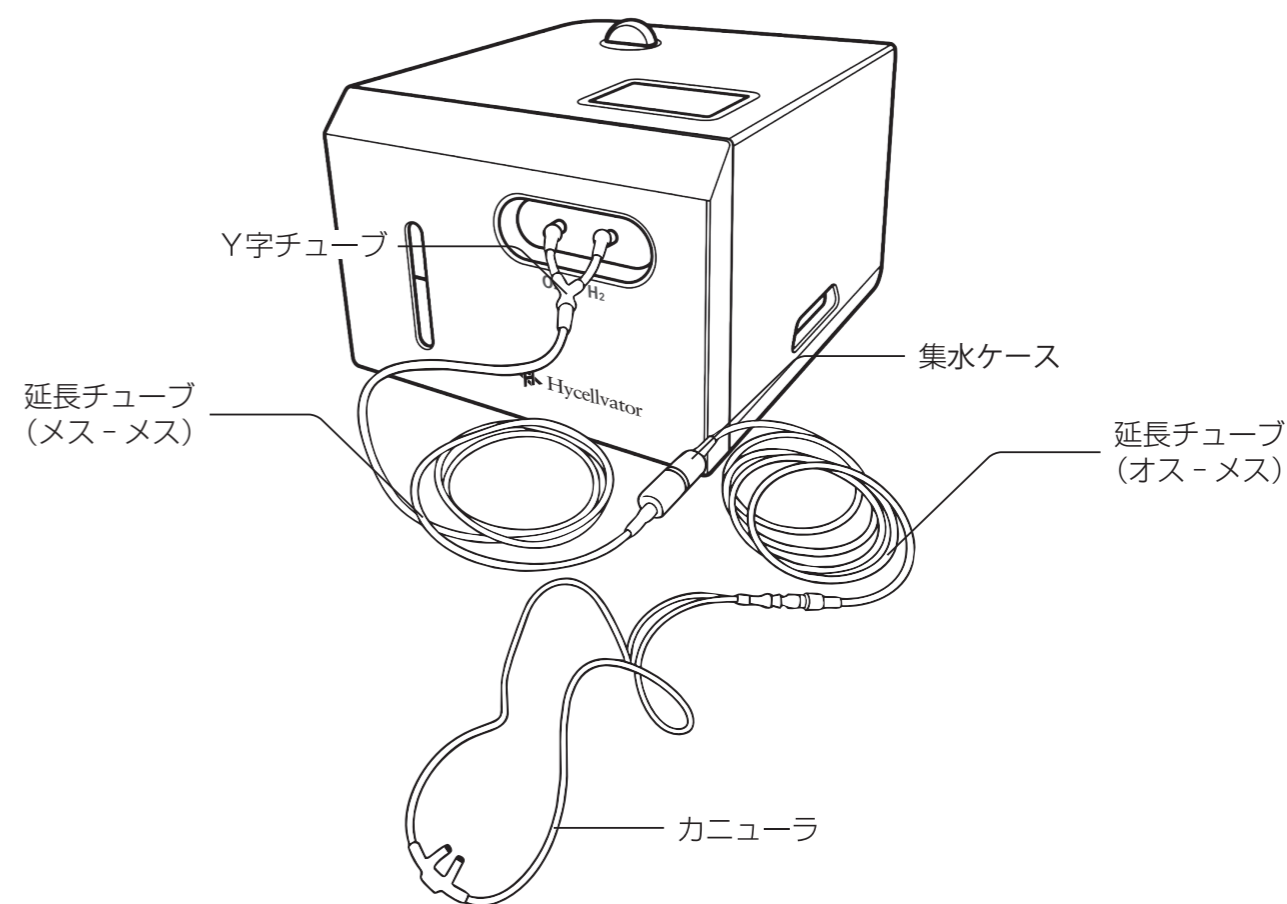
# 各部名称



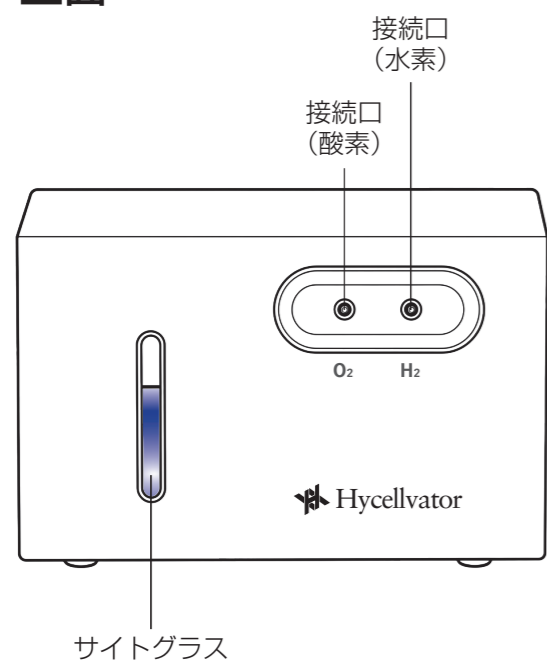
## 底面



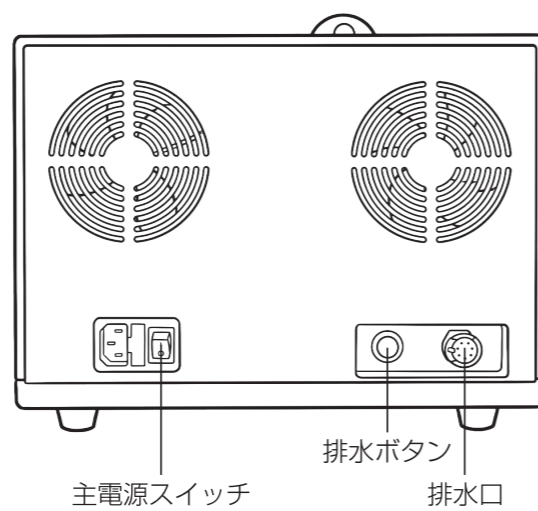
## 付属品 装着時



## 正面






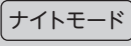
## 背面




# 各部名称 (つづき)

## タッチパネルについて



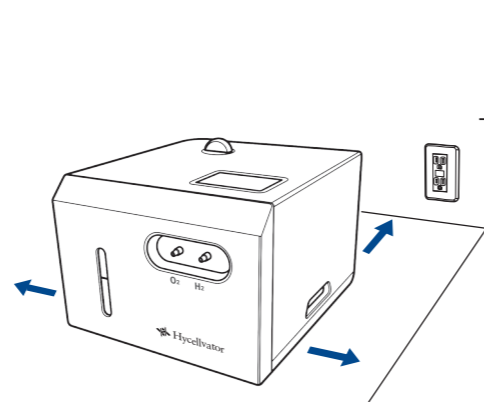
	<p><b>【電源】ボタン</b> 本機の電源を入/切します。</p>
	<p><b>【開始/停止】ボタン</b> 水素の発生を開始/停止します。</p>
	<p><b>運転モード選択</b> (「運転する」(P.14)) [01:00]、[03:00]、[05:00]、[00:00] の順で選択できます。 [00:00] は連続運転です。</p>
	<p><b>ナイトモード(ライト)選択</b> (「ナイトモード」(P.15)) 明るさを 3 段階で調整できます。</p>

<p>水交換</p>	<p><b>水交換LED</b> 専用水を交換する必要があるときに点灯します。 「排水する」(P.20～22) を参照して専用水を排水してから、「給水する」(P.19) を参照して専用水を給水してください。</p>
<p>高温</p>	<p><b>高温LED</b> 本体内部が一定の温度を超えると点灯します。 →点灯したら、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜き、弊社までご連絡ください。(P.28)</p>
<p>高圧</p>	<p><b>高圧LED</b> 装置内部に高い圧力がかかる(使用中にチューブが折れたりする)と点灯します。圧が抜けたら運転できます。 表示が消えない場合は、弊社までご連絡ください。(P.28)</p>
	<p><b>水位表示</b> 専用水の水位を表示します。 水位を表すバーの一番下が赤く点灯したら、「給水する」(P.19) を参照して専用水を給水してください。 一番上のバーが赤く点灯した場合は、専用水の過剰に給水されています。 「排水する」(P.20～22) を参照して、専用水を排水してください。</p>
<p>88:88</p>	<p><b>運転時間表示</b> [01:00]、[03:00]、[05:00] は残り運転時間の表示をします。 [00:00] の連続運転は運転開始後の経過時間を表示します。</p>

# 設置する

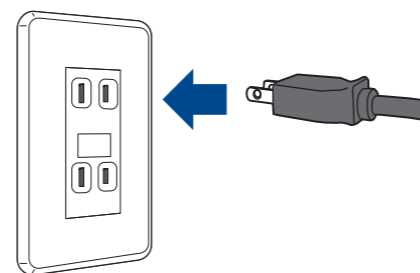
## 1 ご使用場所の周囲(背面・左右)に、壁などから10cm以上のすき間を確保して設置する

- 硬い板の上などにセットする。
- 本体底面に吸気口があるため毛足が長い敷物の上で使用しないでください。また異物を吸い込まないようにご注意ください。

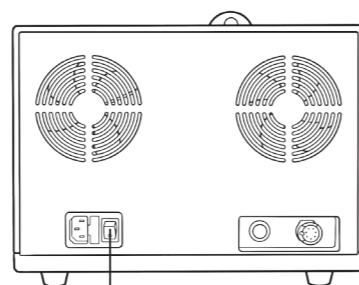


## 2 電源コードをコンセントに挿す

- 電源コードが壁に設置された電源コンセントに届かない場合は、市販の延長用電源コードをご使用ください。



## 3 本体背面の主電源スイッチをONにする



主電源  
スイッチ

## 4 タッチパネルの[電源]ボタンをタッチしてONにします

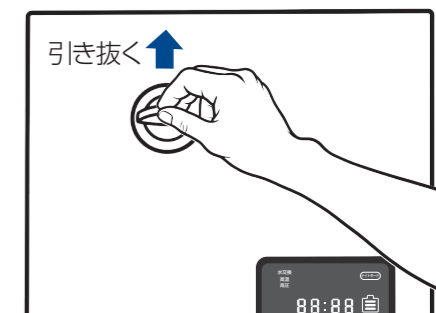


# ご使用方法

## 準備する

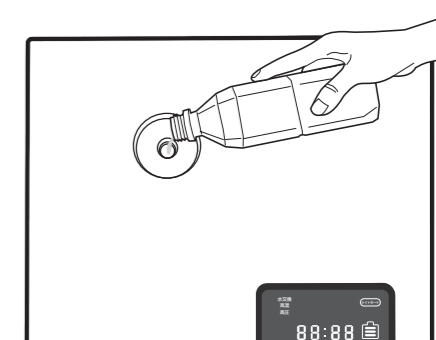
### 1 給水口のキャップをあける

- キャップはつまみを持って、真上に引き抜くと外れます。



### 2 専用水を専用給水口にゆっくりと注ぎ入れる

- 専用水は、勢いよく注ぐとあふれることがあります。静かにゆっくりと給水してください。
- 空の状態から給水した場合、約2Lの専用水を給水できます。



# ご使用方法 (つづき)

## 3 水位計のLEDが3本白点灯してピーピーピーと音がしたら給水を止める

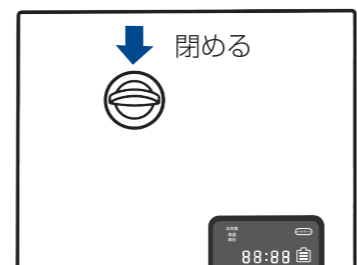
- 専用水を入れすぎると、水位計の一番上が赤く点灯します。「排水する」(P.20～22)の手順で、水位計の赤色が白色になるまで専用水を排水してください。



	一番上が赤	<b>給水の上限を超えている状態</b> 運転(水素の発生)ができない状態です。 →「排水する」(P.20～22)を参照して、一番上が白に変わるまで専用水を排出してください。
	白点灯	<b>満水状態</b> 給水をやめてください。
	白点灯	<b>追加の給水が可能な状態</b> 専用水を追加で給水することができます。
	一番下が赤	<b>水不足</b> 「給水する」(P.19)を参照して、専用水を給水してください。

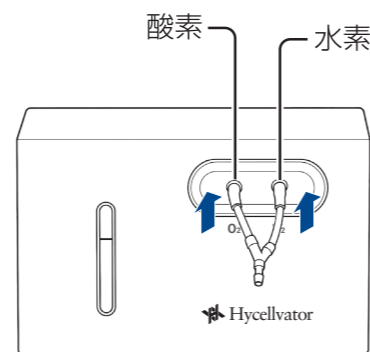
## 4 専用水給水口のキャップを閉める

- **キャップは必ずしっかりと閉めてください。** 緩みがあると水素と酸素の発生が弱くなる場合があります。

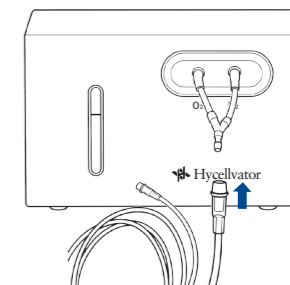


## 5 正面の接続口に(2本)にY字チューブを差し込む

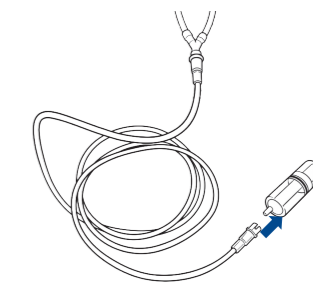
- 右の接続口から水素、左の接続口から酸素が発生します。



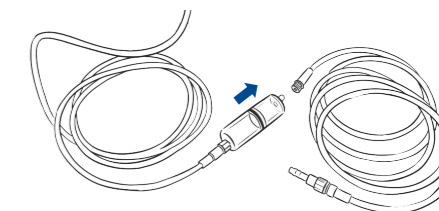
## 6 Y字チューブに(メス-メス)延長チューブを接続する



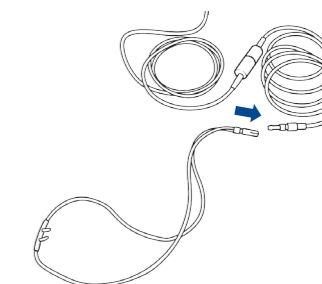
## 7 (メス-メス)延長チューブに集水ケースを接続する



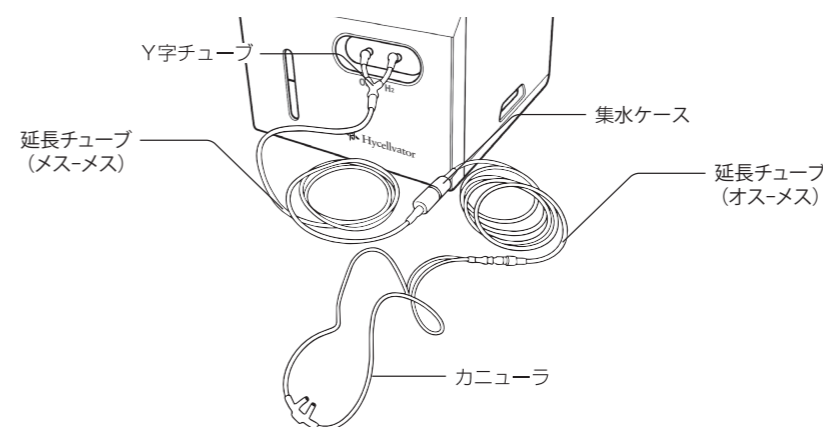
## 8 集水ケースに(オス-メス)延長チューブを接続する



## 9 (オス-メス)延長チューブにカニューラを接続する



- 集水ケースに水が溜まったら、ふたを開けて中の水を捨ててください。事前に、集水ケース内にティッシュペーパーなどを入れておくと、ティッシュペーパーを交換するだけで水分の除去が可能です。(ティッシュペーパーは、必ず毎回新しいものを使用してください。)



集水ケースの開け方



## 運転する

本機には、「連続運転」、「1時間」、「3時間」、「5時間」の4つの運転モードがあります。

- 連続運転は水不足検出後、運転を停止して、約3分で本体の電源が自動で切れます。
- 「1時間」、「3時間」、「5時間」は、設定時間を過ぎるか、水不足検出で運転を停止して、約3分で本体の電源が自動で切れます。

### 1 タッチパネルの[電源]ボタンを、ピッと音がするまでタッチする

タッチパネルの電源 LED が白色から緑色に変わります。



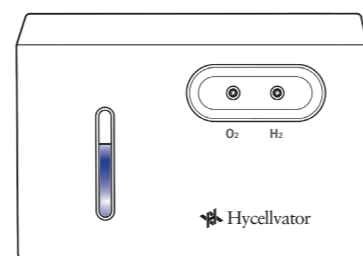
### 2 [運転モード]ボタンを押して、運転時間を選択する

- [00:00] は連続運転
- [01:00] は 1 時間
- [03:00] は 3 時間
- [05:00] は 5 時間



### 3 タッチパネルの[開始/停止]ボタンを、ピッと音がするまでタッチする

運転が開始され、サイトグラスが青色に点灯し、気泡が現れます。



## 4 カニューラを装着する

装着前にカニューラの挿入部を口元に近づけ、水素が流れていること(微風)を確認してください。

- ① 突起部を下に向け、鼻の下のくぼみにあて、挿入部を鼻に入れる
- ② ①を片手で押さえながら、もう一方の手でチューブを両耳にかける
- ③ リングを引き上げ、ズレないように調整する
  - リングは締め過ぎないように注意してください。
  - 吸入は、ソファなどに座り楽な姿勢で行ってください。



### お願い

- 吸入中は火気厳禁です。火災や爆発の原因になりますので、喫煙したり、ストーブの近くで使用したりなど、可燃や引火、静電気発生のおそれがある場所で絶対に運転しないで下さい。
- 冬季(乾燥時期)は加湿器を併用してください。

## ナイトモード

タッチパネルの明るさを3段階で切り替えることができます。

### 1 タッチパネルの[ナイトモード]ボタンを、ピッと音がするまでタッチする

タッチするたびに明るさが3段階に切り替わります。

- 完全に消灯することはできません。
- 1番明るいモードのみサイトグラスの照明が点灯します。



# ご使用方法 (つづき)

## 運転を停止する

カニューラを取り外してください。

### 連続運転

タッチパネルの「開始／停止」ボタンを、ピッと音が鳴るまでタッチすると、運転が停止します。その後、約3分で本体の電源が切れます。

### 1時間運転

1時間経過すると運転が停止します。その後、約3分で本体の電源が切れます。

### 3時間運転

3時間経過すると運転が停止します。その後、約3分で本体の電源が切れます。

### 5時間運転

5時間経過すると運転が停止します。その後、約3分で本体の電源が切れます。

- 途中で運転を停止する場合は、次の手順で停止してください。

タッチパネルの「開始／停止」ボタンを、ピッと音が鳴るまでタッチすると、運転が停止します。その後、約3分で本体の電源が切れます。

### お願い

- 運転(水素の発生)中に、主電源を切らないでください。**  
**また、電源コードを抜かないで下さい。故障の原因になります。**

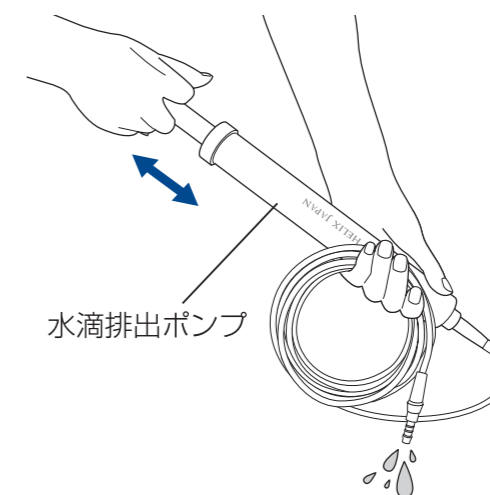
# 使用後のお手入れ

お手入れ時は、必ず運転を停止してから行ってください。

## 1日の終わりに Y字チューブ・延長チューブ・排水チューブ

### 1 チューブ内に水滴が溜まっていたら、水滴排出ポンプで溜まった水滴を排出する

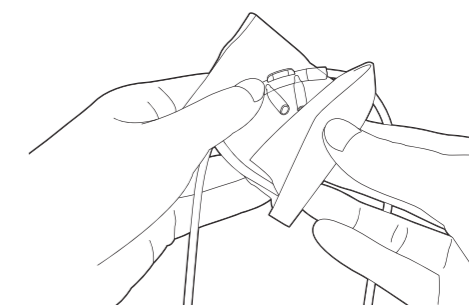
- 水滴排出ポンプを接続していない側から水が排出されます。水が飛び出してもよい場所で行ってください。



## 1日の終わりに カニューラ

### 1 鼻に装着した部分をアルコールなどで拭く

- チューブ内に水滴が溜まっていたら、延長チューブと同じく、水滴排出ポンプで溜まった水滴を排出してください。
- 乾いたら付属のビニール袋に入れて保管してください。



### お願い

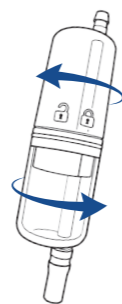
- 衛生的にご利用いただくため、カニューラはご使用状況により、1か月程度で新しいものに交換してください。

# 使用後のお手入れ (つづき)

## 1日の終わりに 集水ケース

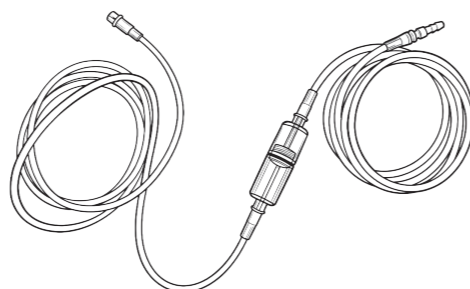
### 1 ふたを外し、中の水を捨てる

集水ケースの開け方



### 2 軽く水洗し、乾燥させる

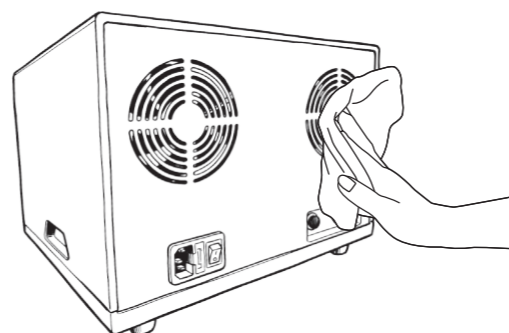
- チューブ内に水滴が溜まっていたら、延長チューブと同じく、水滴排出ポンプで溜まった水滴を排出してください。



## 汚れが気になったら 本体

### 1 吸気口にほこりが溜まっていたら、乾いた布で拭き取る

- 水拭きしたり、洗剤を使用したりしないでください。



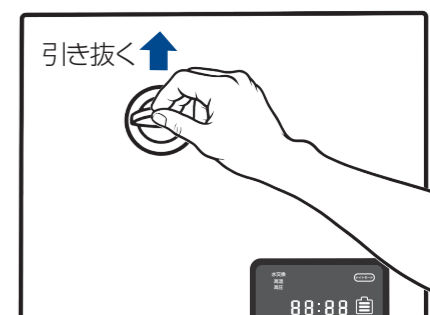
# 専用水の給水と排水

## 給水する

お届け時、専用水は空の状態でお届けされます。運転を開始する前に、専用水を給水してください。

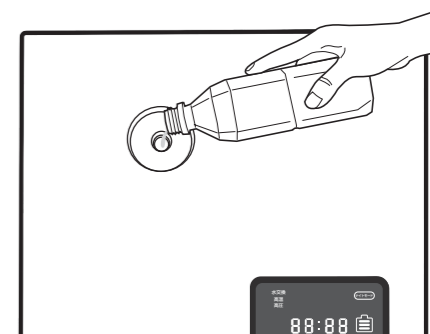
- 専用水を過剰に給水すると、一番上のバーが赤く点灯します。「排水する」(P.20～22)を参照して、専用水を排水してください。

### 1 キャップをあげる



### 2 専用水を給水口にゆっくりと注ぐ

- 専用水は、勢いよく注ぐとあふれることがあります。静かにゆっくりと給水してください。
- 周りに水滴がこぼれたら、乾いた布でふき取ってください。

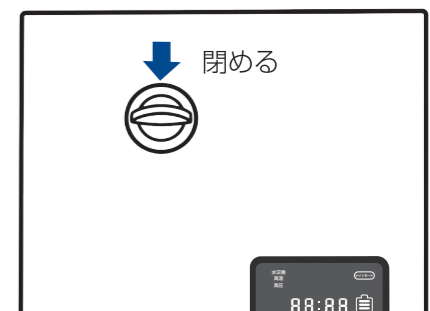


### 3 水位計のLEDが3本白点灯してピーピーと音がしたら給水を止める

- 専用水を入れすぎると、水位計の一番上が赤く点灯します。「排水する」(P.20～22)の手順で、水位計の赤色が白色になるまで専用水を排水してください。

### 4 専用水給水口のキャップを閉める

- **キャップは必ずしっかりと閉めてください。** 緩みがあると水素と酸素の発生が弱くなる場合があります。



# 専用水の給水と排水 (つづき)

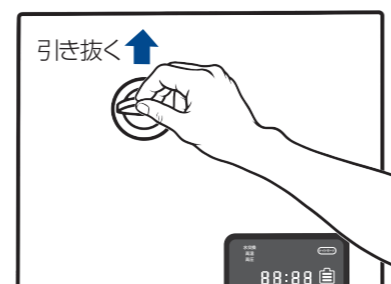
## 排水する

次の場合、以下の手順で専用水を排水してください。

- 水位計の一番上が赤色に点灯した場合  
水位計が白色に変わるまで、排水してください。
- 水交換LEDが点灯した場合  
専用水を全て排水してください。  
満水状態から排水した場合、約 2L の専用水が排水されます。
- 長期間 (3 ヶ月以上) 使用していない場合

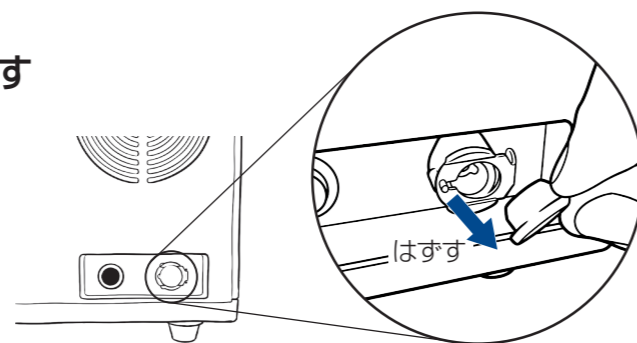
### 1 給水口のキャップをはずす

- 排水時は必ずキャップを外してください。



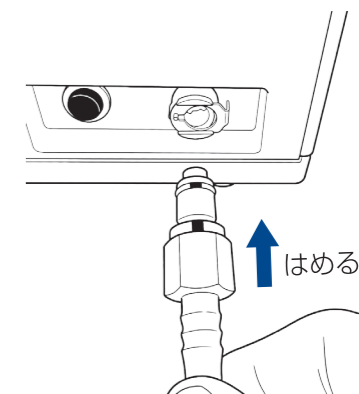
### 2 本体背面の排水口キャップをはずす

- 排水口キャップは小さいので失くさないように気をつけてお取扱いください。

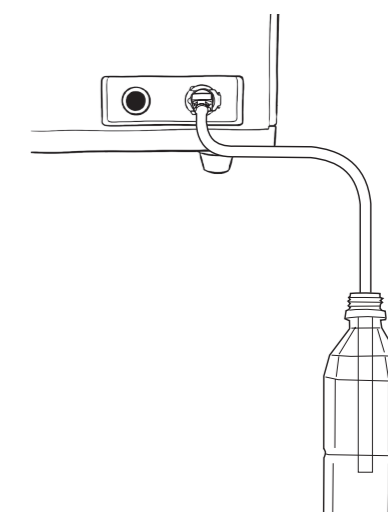


### 3 排水口に排水チューブをはめる

カチッと音がるまで、  
しっかりとはめてください。

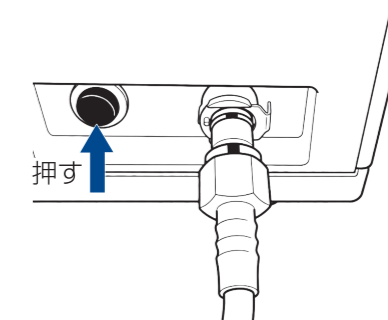


### 4 排水チューブの先を、空のペットボトルに差し込む



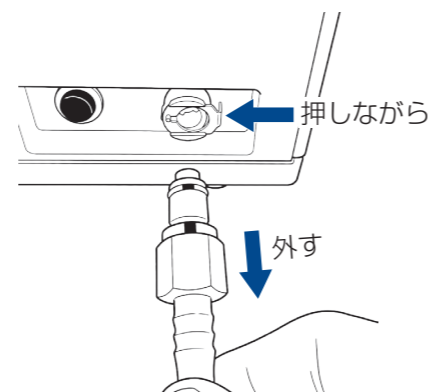
### 5 排水ボタンを押す

排水ボタンを押している間、専用水が排水されます。  
水位計が白色に変わるまで、または専用水が全て  
排水されるまで排水ボタンを押してください。

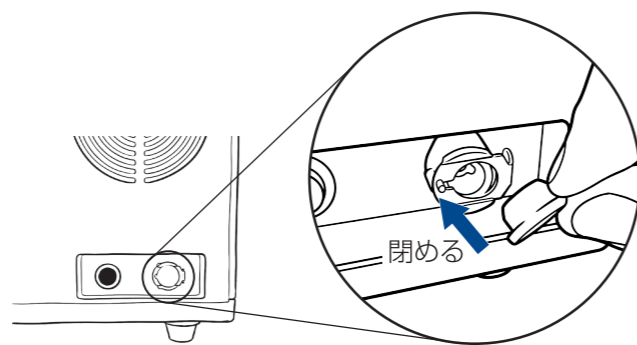


## 専用水の給水と排水 (つづき)

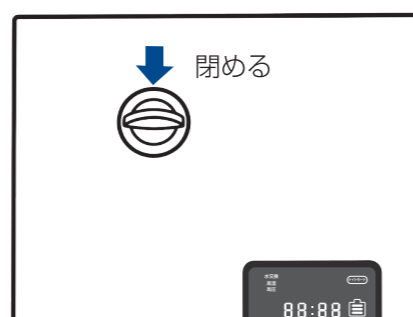
- 6 本体側のロックを押しながら  
チューブを外してください



- 7 排水口キャップを閉める



- 8 給水キャップはしっかりと  
閉めてください



## フィルターの交換

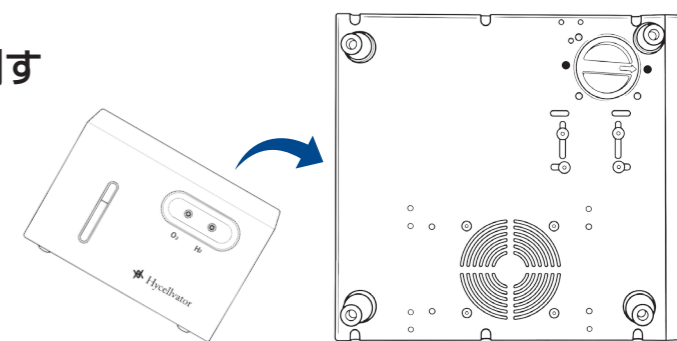
### フィルターの交換

水交換LEDが頻繁に点灯する場合は、フィルターの交換時期の可能性あります。

- 1 排水して内部を空の状態にする

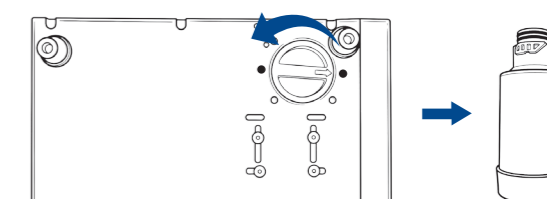
「排水する」(P.20 ~ 22)を参照して、  
専用水を排水してください。

- 2 主電源を切り、本体を90度倒す

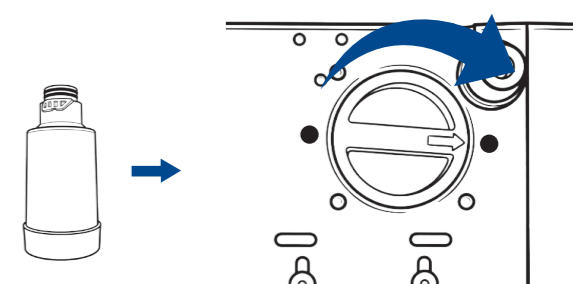


- 3 底のつまみを反時計周りに  
回してフィルターをはずす

とりはずしたフィルターは地方自治体の  
ルールに沿って不燃ゴミとして廃棄  
してください。



- 4 新しいフィルターを押しなが  
ら回し入れ本体のマークとつま  
みの矢印を合わせる様にセット  
する





# Q&A 故障かな？と思ったら

## 電源について

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードは、コンセントにしっかりと差し込まれていますか？</li> <li>● 本体背面の主電源スイッチは入っていますか？</li> </ul>
電源は入ったが、 運転できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タッチパネルの水位計が、すべて消灯になっていませんか？ → 水が入っていない状態です、専用水を給水してください。(P.19)</li> <li>● タッチパネルの水位計で、一番上に赤いランプが点灯していませんか？ → 専用水を排水してください。(P.20～22)</li> <li>● タッチパネルの以下のランプが1つでも点灯したら、運転(水素の発生)ができません。 → 弊社までご連絡ください。(P.28) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 水交換 (水交換 LED)</li> <li>● 高温 (高温 LED)</li> <li>● 高圧 (高圧 LED)</li> </ul> </li> </ul>
運転中に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転中に本体を斜めにする、安全装置が作動して電源が切れることがあります。 → 平らで安定した場所に置いて使用し、運転中は本体を動かしたり移動したりしないでください。</li> <li>● 電源コードが抜けかかったり、接触不良になったりしていませんか？</li> </ul>

## タッチパネルの表示について

 一番上が赤	給水の上限を超えている状態です。 → 「排水する」(P.20～22)を参照して、一番上が白に変わるまで専用水を排出してください。
 水位計のバーがすべて消灯している	専用水を給水してください。(P.19)
高温 (高温 LED) が点灯している	主電源スイッチを切って、1時間以上放置してください。 放置後に電源を入れた後、再度点灯する場合は弊社までご連絡ください。(P.28)
高圧 (高圧 LED) が点灯している	装置内部に高い圧力がかかる(使用中にチューブが折れたりする)と点灯します。圧が抜けたら運転できます。 表示が消えない場合は、弊社までご連絡ください。(P.28)

# Q&A 故障かな？と思ったら (つづき)

## 水素の発生と吸入について

水素が出ない または出る量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再度 [開始/停止] ボタンをタッチしてください。</li> <li>● 専用水給水口のふたは、しっかりと閉まっていますか？</li> <li>● すべてのチューブはしっかりと接続され、緩みやねじれはありませんか？</li> <li>● すべてのチューブは硬くなったり、先端に汚れが付着したり、伸びきってまともになくなっていませんか？ → 延長チューブやカニューラの交換時期です。 弊社オンラインストアにてご注文いただけます。(P.27)</li> <li>● 電源ケーブルはたこ足配線にしていますか？</li> <li>● 専用水は入っていますか？ 専用水の残量は、タッチパネルの水位計で確認できます。 → 専用水を給水してください。(P.19)</li> </ul>
水素の発生を確認できますか？	サイトグラスに気泡が見えていれば、水素は発生しています。 また、カニューラの装着部を口元にあてると微風を感じます。

## 製品仕様/その他

### 仕様

電源	100 V - 240 V
消費電力	336 W
ガス発生方式	固体高分子電解質 (PEM) 方式
水素酸素ガス発生量	水素: 約 600 ml/分 酸素: 約 300 ml/分
水素純度	99.99%
寸法	幅 315 mm × 奥行き 345 mm × 高さ 240 mm
本体質量	7.8 kg
使用条件	使用場所: 室内 推奨使用温度: 5 °C ~ 40 °C 推奨湿度: 40% ~ 60%
運転モード	連続運転 / 1 時間運転 / 3 時間運転 / 5 時間運転 ※ 運転終了後、3分程度で本体電源が自動で切れます。

### 専用水

使用目安	満水状態で 30 時間程度の運転が可能 ペットボトル 1 本 (500ml) で約 14 時間の運転が可能
消費期限	製造から 1 年間 (ボトル上部に記載)
保管方法	直射日光、高温多湿を避け、気体やにおいを発生するものと一緒にしないように、冷暗所で保管する
使用時のご注意	<ul style="list-style-type: none"><li>● 付属または別売の専用水以外使用しない 専用水以外を使用することにより、本体に不具合が発生する場合があります。</li><li>● 飲用として使用しない</li><li>● 消費期限の過ぎたものは使用しない</li><li>● 専用水は高純度に精製された精製水のため、不純物の混入に注意する</li></ul>

## 製品仕様/その他 (つづき)

### 廃棄について

ご不要になった場合はご自身で廃棄せずに、弊社までご連絡ください。(P.28)

### 別売品について

専用水やその他の別売品は、同梱の「専用水・付属品 購入申込書」に必要事項をご記入いただき FAX でお送りいただくか、以下の「オンラインストア」にてお買い求めいただけます。

### オンラインストア

パソコンやスマートフォンなどからご利用いただけます。(クレジットカード決済可)

URL : <https://helixj.co.jp/store/>

